

科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

(135)

EIC 新設

欧州連合 (EU) に、革新的な技術やイノベーション創出を促す公的な動きが活発になってきている。EU では従来、アカデミア向けの研究資金助成機関である欧州研究会議 (ERC) や、新興・融合研究への助成を目的とする未来新興技術 (FET) プログラ

ムを通じて、基礎研究に資金を提供し優れた成果を生み出してきた。しかし、そうした成果をイノベーションに結び付ける仕組みが十分でなく、米の後塵を拝している問題視されていた。

こうした状況を改善すべく、2017年

に、革新的な技術やイノベーションの特定・発展・拡大を目的とするスタートアップ向けに提供される。

3つの支援制度

EU では、研究開発の段階に応じた3つの支援制度を提供す

る。すなわち、技術の初期段階を対象としたアカデミア主体の「パライズン・ヨーロッパ」(21-27年)の開始に合わせEICが正式に発足した。予算は7年間で101億、そのうち7割は中小企業・スタートアップ向けに提供される。「アクセラレーター」である(各制度の概要は図表の通り)。

EU、イノベーション創出に注力



科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センターフェロー(海外動向ユニット) 山村 将博

東京工業大学大学院社会理工学研究科修了。2008年JST入構。国際事業担当、産学連携事業担当を経て、NPO法人STSフォーラムに出国し国際会議運営業務に従事。18年11月より現職。主にEUの動向調査を担当。

同基金が本格運用を開始した21年1月から7カ月で、既に137社に対し6億円の投資が決定した。このうち最初に実施した47件の投資の半数以上で、VCなどから総額4億

EICの各制度概要

制度	パスファインダー	トランジション	アクセラレーター
対象	技術の初期段階～概念実証	概念実証～商業化前段階	中小企業・スタートアップによる市場展開やイノベーション拡大
助成・投資金額(ユーロ)	助成金：最大400万	助成金：最大250万	助成金：最大250万 投資：50万-1500万
期間	定めなし(3-4年が多い)	定めなし(2-3年が多い)	助成：2年 投資：通常7-10年、最長15年

出典：JST 研究開発戦略センター「海外調査報告書 EU の研究・イノベーション枠組みプログラム Horizon Europe」(2021年12月) 40-41 頁の表を基に作成
<https://www.jst.go.jp/crds/report/CRDS-FY2021-OR-02.html>